

第 62 回 日本学生科学賞 東京都大会

第 62 回日本学生科学賞の東京都大会で、本校生徒の研究 5 件が入賞しました。

日本学生科学賞は昭和 32 年に創設された中学・高校生の理科分野の公募コンクールで、最も伝統と権威があります。小石川フイロソフイーや部活動を通して 1 年間続けた研究が認められたことを、嬉しく思います。

最優秀賞

高校の部「簡便なカフェインの定量」5 年生個人研究

独創的なアイデアで、飲料中のカフェイン濃度を簡便に定量する方法を開発しました。

優秀賞

高校の部「カラスウリの種はなぜユニークか」5 年生個人研究

独特の形状をしたカラスウリの種に注目し、それぞれの部位の役割と進化の過程を探究しました。

中学の部「硝酸銀による塩化物イオンの定量」2 年生 2 名共同研究

食塩水と反応して沈殿を生じる硝酸銀水溶液の性質に注目し、食塩水の濃度を調べました。

奨励賞

中学の部「ナイロンの漂白の研究」2 年生個人研究

酸素系漂白剤の働きを、化学的な手法を用いて探究しました。

中学の部「カルピスの希釈濃度の研究」2 年生個人研究

様々な手法を用いて、カルピスとカルピスウォーターの濃度を比較、考察しました。



高校の部で最優秀賞を受賞した「簡便なカフェインの定量」は、東京都の代表として 11 月に行われる全国審査に進むことが決まりました。本校生徒の最優秀賞受賞は、3 年連続になりました。深く探究しようとする気持ちが、先輩から後輩に受け継がれていることを感じます。

過去 3 年間の最優秀賞（東京都大会）

平成 28 年「変形体の自己拡張的自他認識力」中学の部

「スライムを用いた PF の作成」高校の部

平成 29 年「無電解ニッケルメッキの研究」高校の部